

(会議録)

加東市環境市民会議 第1回会議議事録

開催日時：平成21年9月29日（火）午後7時30分から午後10時まで

開催場所：社公民館（社多目的研修館） 研修室（2階）

出席委員：伊藤忠義委員、藤本武志委員、水口逸男委員、竹内正子委員
阿江洋和委員、梶原一晃委員、安達廣子委員、佐々木正利委員
竹村厚司委員、岸本清明委員、山口広子委員、吉田博史委員
藤井俊宏委員、弘中和夫委員、石田れい子委員、井上綾乃委員
小林隆造委員、近松照芳委員 （委員出席18名、欠席0名）

コンサル：兵頭統括者、井原技術士（コンサル出席2名）

事務局：安田副市長、西村市民安全部長、前田生活課長、藤浦生活課副課長
岸本生活課主幹、長谷田生活課主幹（事務局出席6名）

会議次第（抜粋）

1. あいさつ
2. 委員委嘱式
3. 会議構成員紹介
4. 役員選出
5. 環境基本計画と環境市民会議の位置づけ（構成）と役割について
6. 今後のスケジュール（次回会議日程調整）について

会議録（議事録）

【あいさつ】

（安田副市長）

加東市は昭和30年代後半から40年代初め頃まではほ場整備がされていなかったため、自然の多い農地（農村環境）が残っておりまして、溝や小川にはメダカやドジョウがよく見られました。

後に、ほ場整備、河川整備、宅地開発、山林開発などに伴い生き物の姿が見られなくなっていたが、最近は、また、そういった生き物たちが見られるようになってきた。ほ場整備が一段落したり、下水道の整備が行き届いたりしたことが要因ではないかと思われます。

加東市の歌「勇躍加東」の中に、「活力満ちる 我が加東」「元気が集う 我が加東」そして最後に「夢あるまちぞ 我が加東」という歌詞がございます。

活力に満ち、そしてまた、元気が集う、夢がある、そんな街づくりに力を合わせて取り組んで行きたいと思っております。

それにはやはり、様々な環境に取り組むことが大事ではないかと考えております。

先般、東洋経済新報社で全国の784の都市を対象に「住みよさランキング」を発表されました。この「住みよさランキング」のもとになりますのは、「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」「住居水準充実度」の5つの観点・14の指標から偏差値を算出し、単純に平均し、それを総合評価としてランキングしたものでございます。

このランキングを見ますと、加東市は784都市の中で、従来方式で第38位ということでございます。

まもなく、各ご家庭に配布する加東市広報10月号に少し紹介をさせていただいておりますが、「安心度」においては201位、

「利便度」470位、「快適度」15位、「富裕度」が202位、「住居水準充実度」が226位でございます。これを見ますと、「快適度」の15位というのが偏差値を高めた要因ではないかと思われます。全国第38位と申し上げましたが、兵庫県下では芦屋市に次いで第2位ということでございます。昨年が全国ランキングで99位ということでございます。

これを聞かれて、「ほんまかいな?」「何でやねん?」というような想いをされる方もいらっしゃると思いますが、これはこれで素直に喜びたいと思っています。

と同時に、真に全国第38位、兵庫県下第2位を実感できるまちづくりを進めていかなければならないというふうに思うところでございます。

そしてまた、今を生きているわたくし達だけでなく、子や孫、そして次の世代を担う人たちにこの環境を引き継いで行きたいと思っております。

この度、環境基本計画の策定にあたりまして、市民の皆様方の、また事業者の方々のご意見、お考えを反映させていきたいという考えの中で、環境市民会議の設立になりました。

今日、その第1回目として総勢18名の全員がお集まりいただきましたことに大変有り難く思っております。後ほど、委嘱状をお渡しさせていただきますが、平成23年の3月31日までが委員の方々の任期ということで、長期に渡る業務になる訳でございますが、加東市環境基本計画の策定、環境保護のために、何卒のご尽力、ご支援を賜りますようお願いを申し上げまして、簡単措辞でございますが、挨拶に代えさせていただきます。

ありがとうございました。

【委員委嘱式】

安田副市長より、委員お一人お一人に、委嘱状を交付しました。

【委員紹介（自己紹介）】

（伊藤委員）

区長会から選任されました伊藤と申します。私は上久米に住んでおりまして、田舎の育ちでございまして、「田舎の風物詩」みたいな景色で紹介されるようなところに住んでいます。

（藤本委員）

同じく区長会から参加させていただいております藤本と申します。住所は多井田でございます。よろしくお願ひします。

（水口委員）

同じく区長会から参加しています水口です。住所は少分谷と言いまして、一番環境の良い所に住んでいます。よろしくお願ひします。

（竹内委員）

加東市消費者協会から参加しています竹内です。私達の活動としましては、市内の代表的なお店から依頼を受けて、そのお店の価格や鮮度などを、また、お店自体の様子も見て欲しいということで、依頼されて活動しています。まだまだ、初めてで分からぬこともありますが、よろしくお願ひします。地域は野村です。

（阿江委員）

加東市上滝野に住んでおります阿江洋和と申します。上滝野でプロパンガス屋をしております。今回は加東市商工会青年部よりご紹介いただきました。よろしくお願ひします。

(梶原委員) 同じく加東市商工会青年部の梶原一晃です。北野で梶原電器という電気屋をやっております。よろしくお願ひします。

(安達委員) 加東市商工会女性部から参りました安達でございます。兵教大の近くの下久米というところに住んでいます。どうぞよろしくお願ひします。

(佐々木委員) 佐々木でございます。ここに書いてありますようにパークゴルフ同好会というものをやっております。その活動の中で資源ごみ集団回収をやっております。

去年までは滝野工業団地の会社でお世話になっておりましたが定年になりました、たまにお手伝いという形でお世話になっています。

何かのお役に立てたらいいなと思いまして、参加させていただいております。よろしくお願ひします。

(竹村委員) 兵庫教育大学の竹村厚司と申します。大学から派遣されて参加しておりますが、専門は理科を教えておりまして、その中でも「地学」をやっています。我々の世代ですと、高校で地学を学ばれたと思いますが、私自身は「化石」の勉強をしています。恐竜とかといった大きいものではなく、プランクトンなどの小さなものの化石の研究を行っています。

今回、環境市民会議ということで、私自身、勉強しながら頑張って行きたいと思いまして、宜しくお願ひ致します。

(岸本委員) 鳴川小学校の岸本と申します。宜しくお願ひします。私は、今、(播州)清水寺の麓にある僻地校(へきちこう)に居るんですが、自然が豊かな学校で、(見本を以って)このように、子ども達が持ってきた昆虫など生物をデジカメで撮り、ポスターにして残していくことを行っています。地球温暖化が進むにつれ、生物がどう変わっていくのかという証拠にもなるのではないかと思っております。

環境市民会議ということで、私がどれだけお役に立てるか分かりませんが、精一杯頑張りますので、宜しくお願ひします。

(山口委員) 福田地区に住んでいます、地球温暖化防止推進員として県で活動させていただいておりますが、3人しか推進員がいませんので中々思うように活動ができません。

皆さんと一緒に、何か出来ればと考えておりましたところ、環境市民会議というものがありましたので、皆さんとご一緒に活動させていただいたらと思っております。

どうぞ宜しくお願ひ致します。

(吉田委員) ジャスコ社店の吉田と申します。名簿が西川となっておりますが、9月27日に大阪へ異動となり(異動はいつも急なのですが)、私は突然この話をお聞きしました。長期間ではございますが、一緒に頑張りたいと存じますので、宜しくお願ひ申し上げます。

(藤井委員) パナソニックエコテクノロジーセンターの藤井と申します。宜しくお願ひします。私どもの会社は、家電製品のリサイクルを行っている工場でございます。

テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機の4品目のリサイクルを行

っています。

私は昨年の2月にこちらに転勤して来ましたが、まだ1年6・7か月なので、これから一生懸命環境のことを勉強していきたいと思っておりますので宜しくお願ひ致します。

(弘中委員)

積水ハウス兵庫工場から来ました弘中和夫と申します。

最近は企業の方も社会的責任ということで、CSRということがよく言われます。少しでも、地域と密着して貢献したいと思いまして会議に参加させていただきました。

宜しくお願ひします。

(石田委員)

私は転勤族で11回目の転勤で加東市に落ち着いたんですが、各地で得た環境に対する考え方とか、色々なものを皆さんから得ながら、また、自分でも与えながらやってきたので、市民会議に申し込みました。

私は、西脇小学校の学童保育で100人の子どもと接しています。また、社地区で剣道を子ども達と行っています。

「子ども達にとっての環境」ということを考えて、応募させていただきました。

それなりに頑張って行きたいと思いますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。

(井上委員)

社高校の直ぐそばの藤田という所に住んでいます井上と申します。私も、環境保全に昔から関心がありまして、学生時代は岡山、就職して東京に行き、実家は静岡であったりと、転々としていたんですけども、ここに嫁いで来て一生ここに住むと思っていますので、加東市の環境が良くなればいいなと思って応募させていただきました。

現在、8か月になる息子がいまして、小さい子どもを持つ母親として良いまちづくりが出来ればなと思って意見させていただきたいと思いますので、宜しくお願ひします。

(小林委員)

滝野地域から来ました小林隆造です。広報を見て、何かお役に立てればと思い応募したところ、図らずも選んでいただきまして、微力ながら何らかの形でこの会議に貢献できればと思っております。

宜しくお願ひします。

(近松委員)

上滝野の近松照芳と申します。現在、加東市、小野市、三木市の方でパソコン教室を営んでおります。

6・7年前からボランティアで高齢者の集いで福祉や環境活動等々をやっておりまして、そういう関係で普段から環境に興味がありました。

たまたま庁舎へ行きボランティア活動資金の相談に伺ったのが縁で、市民会議に応募したところ、はからずも、こういう大役をおおせつかりました。本当に微力でございますが宜しくお願ひします。

【業務委託業者の紹介（2名）】

【事務局職員の紹介（6名）】

(市民安全部長) 加東市役所市民安全部長の西村でございます。長期に渡る事業計画ということになりますので、皆様方のご協力の下、市民の目

線に立った計画を立案したいと思っておりますので、ご協力の程宜しくお願ひ致します。

【役員の選出】

役員選出の前に訂正がございます。次第4番の中で会長と副会長という表記でございますが、委員長と副委員長の間違いでございます。申し訳ございません。訂正を宜しくお願ひ致します。

加東市環境市民会議設置要綱第5条第1項により、委員長1名並びに副委員長2名の選出をお願いしたいと存じます。

設置要綱では「委員の中から互選」となっておりますが、初めての顔合わせでなかなか選べないと思いますので、事務局よりご提案させていただきたいと存じますが宜しいでしょうか？

ご承認いただけるのであれば、拍手をお願いしたいと思います。

(拍手多数)

拍手多数によりご承認いただきました。

それでは、委員長に学識経験者ということでご参加いただいています、兵庫教育大学准教授の竹村厚司様、副委員長に同じく学識経験者ということで、市立鴨川小学校教諭の岸本清明様、並びに地球温暖化防止推進員の山口広子様の3名の方々にお願いをしたいと思います。

賛成の方は、拍手を以って承認とさせていただきます。

(拍手多数)

拍手多数によりご承認いただきました。

竹村様、岸本様、山口様、よろしくお願ひします。なお、この3名の方々は、今後、各部会での分科会になった場合の座長として、部会運営等を進めていただきたいと存じますので、併せてよろしくお願ひ致します。

それでは、以後の議事になりますが、加東市環境市民会議設置要綱第6条第1項に基づき、全体会議の際の議事を委員長の竹村様にお願い致します。

【環境基本計画と環境市民会議の位置づけと役割について】

(竹村委員長) 全体の議事を努めさせていただきます。よろしくお願ひ致します。これから長丁場で2年程になりますが、皆さんよろしくお願ひ致します。

私もこういった会議は初めてでございます。いろいろ慣れない点やお教えいただくこともあるかと思いますが、皆さんよろしくお願ひします。

それでは、次第5番目の(1)について、ウエスコさんより説明をお願いします。

(ウエスコ井原氏) 今日は第1回目の市民会議ということで、そもそも加東市環境基本計画とは、また、計画がなぜ必要なのか、加東市に関わる環境ということをどう考えたら良いのか、そういう点をご説明し、ご理解いただければと思います。

お手元の説明資料をご覧ください。お配りしている資料は、文字の多い内容の盛り沢山なものですので、正面のスクリーンの方で重要な要点部分を拾ってご説明申し上げます。

今日は、1点目に環境基本計画策定の背景・目的・考え方、なぜ、今、環境基本計画が必要なんだという部分のお話、2点目が

計画のフレーム（全体構成）ということで、「環境基本計画の内容はどんな内容で考えるの？」「どういう内容になってるの？」という部分、3点目に計画の策定体制と今後の進め方ということで、環境市民会議でどういうことを考えていくのか？どんなスケジュールで進めていくの？という部分をそれぞれご説明いたします。

（以下、パワーポイントをもとに説明：約25分程度）

（竹村委員長） いろいろと質問もあるでしょうが、続きまして、（2）（3）について、事務局より説明をお願いします。

（事務局） 全体的な流れは先に説明がありましたので、環境という広い分野を加東市としてどうやっていくのかというものを、今後、皆様にご検討いただく訳ですが、事務局として考えている一つのテーマとして、「分かり易い、実効性のある計画」にして欲しいと思っています。

加東市をより良くするためには、計画を作っただけでは駄目なので、環境に係ることに、市民として、事業者として、また行政として、どう関わっていくべきなのか？そういったことを、市民の目線で提案していただきたいというのが、この会議の中心的な役割だと思っています。

行政が気が付かないこと、したがらないことを提案いただいて、その内容を庁舎内部会へ反映し、精査し、出来ることから取り組んでいくという形へ持って行きたいと考えています。

その辺りのことを市民会議の委員の皆さんのが経験や知識、また個々で学習していただいたことから考えいただき、ご提案いただけたらと思っています。

（以下、資料をもとにスケジュール・部会内容等の説明：約20程度）

（竹村委員長） ここで、何か質問はありませんか？

（井上委員） 今、委員長、副委員長は決めたんですが、部会の部長などは決めて進めるのでしょうか？

（竹村委員長） 委員長、副委員長の3名が各部会の座長も行うということのようです。宜しいでしょうか？3人は、各部会に分かれると思いますが。

（井上委員） ありがとうございました。

（竹村委員長） それでは、ここで名簿の下の順番から、何か一言、ご質問でも何でも結構です。よろしくお願ひします。

（近松委員） 本日出された資料は本当によく出来ていると思います。逆に、これを見て「大変だな」と感じました。ただ、こういった部会型式の5～6人の会議で何かを決めていくことの難しさみたいなものを感じました。ある程度、本音も言わなきゃいけないが、ただ、本音ばかりだと会議がなかなか進まないということもあると思います。ジレンマがあるとも思いますが、一人ひとりがいろんな想いをお持ちで、その中でどこまで自分の想いを出すのかが難しいところかなと感じました。

(小林委員)

皆さんがいろんな意見をお持ちなのできちつとまとめていくということも大変かなと思いますが、本日の資料を見ますと、既に決まっているような気がして、その決まった路線を突っ走るような感じで資料を読んでいました。

もっと、奔放な意見を出しながら皆さんと議論できると楽しみにしていたので、ちょっと意外な気がしています。県や市の考え方があるのでしょうけど、(決まっているのではないかということに)ちょっと疑問を感じました。

(竹村委員長)

私も同じことを感じていましたが、これはあくまで案ですので、我々の意見が違えば、それは反映されるものであると思います。

(井上委員)

この会議で、どのレベルから検討されるのかなとドキドキしていましたが、ある程度、枠を出していただいているので、テーマを与えていただいたところで私達の感じていることを言っていくという形になるのかなと思ったんですが、もし、皆さんがあれ自身を変えたいということであれば、それを反映されていく形で変えられるのであればいいなと感じました。

(石田委員)

これはあくまで案であって、大人でも、小学生でも、中学生でも分かる言葉で作っていかないと、本当の意味での環境の改善とかは無理かなと思います。

私達以外の市民のみんなが分かることを提案していきましょうということが第1歩だと思いますので、そこから入って行きたいと思っています。

(弘中委員)

企業という立場からお話しします。

会社でも、社長から「これから環境を語らない企業は生残れない」と言われて、テレビ等でも環境のことを言っていますが、われわれ工場の人間はなかなか実際の行動になると、いろいろ知らないことが沢山あって、企業の中でも一つひとつ勉強しているような状態です。ただ、企業活動の中でのことなので、「知らない」では済まない世の中ですので、いろいろ勉強しながら、また同時に企業活動しているという状況です。

これから、本当にこういう機会に企業の社会的責任（CSR）という点で、少しでも皆さんのお役に立てたらと思いながら参加させていただいております。

よろしくお願ひします。

(藤井委員)

計画を聞いていて、事務局から「分かり易い、実効性のある計画」にして欲しいというお話しがありましたが、それに加えて、「継続性のある内容」にしないと、環境問題というのは単発で行って成果が出るものではないので、次世代につないで行ける内容にしていかないといけないと思います。

また、部会の構成なんですが、長をフォローするサブリーダー的な方を付けていただいた方が、部会がよりスムーズに運営できるのではないかと思います。

(吉田委員)

この地域の環境は自然が豊かなので、この環境をずっと維持できたらと考えています。また、そのための活動であれば、喜んで参加させていただきます。

よろしくお願ひします。

(山口委員)

まちづくりの基本理念ということろで合併協議会の頃を思い出し懐かしく思いました。

部会の進行など上手くできるか不安ですが、皆様のご協力をお願いします。

ただ、部会の時に出た意見をまとめていただく方は各部会に居るのでしょうか？

(事務局)

部会の運営は皆様の中で自由に議論していただいて結構ですが3部会に分かれた後は、事務局職員が各部会に最低1人は付くようにして、最後のまとめや議事録等の作成も行います。

(岸本委員)

一つお聞きしても宜しいですか？「昆虫採集の網がお家にある方は？」・・・・(半数以上が挙手)・・・さすが環境市民会議に来られる方々ですね。結構、持っておられないお家が増えているんです。

川に魚が居て、私達と同じように生きているという感覚を子どもに育てない限り、川をきれいにしようという意識は芽生えない。いくら口で環境教育を唱えても駄目なんです。

だから、効果のある環境教育をしようと、具体的な内容に絞って焦点を定めて、何をどうするのかを見つめてやらなど、言葉だけの環境の取り組みでは、忘れててしまうのではないかと思います。

(竹村委員長)

鳩山総理が国連でCO₂を25%削減ということを言ったが、國の方針が変わった場合、この環境市民会議にどういった影響があるのか、事務局より説明していただきたい。

(事務局)

計画策定期間の2年間にどういった政策が打ち出されるか分からぬが、市民会議の方向性としては、鳩山総理の25%削減を視野に入れた内容で取り組んでいただいた方が良いと思います。

計画は10年で、見直しが5年を設定していますので、簡単に見直しが出来るようなものではないので、先を見据えた計画であって欲しいと思います。

(佐々木委員)

3つの部会に分かれると言っていたが、その内容をもう少しご説明いただけないでしょうか？

また、地球環境の問題や資源枯渇の問題やオゾン層の破壊などいろんな問題があると思いますが、どの辺りまで議論するのか教えて欲しい。

私も、以前勤めていた会社でISO14001の環境マネジメントシステムということで環境負荷への取り組みを行ってきたが、その中で一番大事だなと思ったことは、計画も大事なのだが、啓蒙活動も非常に大事なのではと思っています。

先程、意見にもあったように、子どもにも分かるような内容で、この活動を行っていくことが非常に大事だと思っています。

(事務局)

3部会については、これから皆さんテーマ設定をしていただいてその中で議論していただければ結構です。

ただ、事務局として想定しているのは、「ひと・ふるさと」については、公害問題や廃棄物問題などです。「みず・みどり環境」は自然環境等で、「地球環境」は全てに関連したことになると思います。

＊＊資料6ページより上記説明を含めた詳しい説明を展開＊＊

(ウエスコ井原氏) 3部会の基本は環境基本条例でうたっていることから始まって いますが、皆さん議論にお任せします。

(竹村委員長)

これは、3つに分かれていますが、1つ目は「我々の直ぐ身の回りの環境」で、2つ目は「人間の住んでいる周りの自然環境で、恐らく加東市の自然環境」ということだと思います。3つ目は「加東市を離れた、日本・地球全体の環境」ということで上手く分けられているのではと思います。

当面はこの3つの分野に分かれて議論をしていって、発展するところがあれば考えていけばよいと思います。

(安達委員)

加東市はすごく自然に恵まれていると思います。こちらに嫁いで来た冬、満天の星空を見つめていた覚えがある。

いつまでもこの星空を、子や孫達が見れるようにしていきたいと思っています。

(梶原委員)

商工会青年部長ということで指名があり軽く受けたが、内容を見てびっくりしている。

これから、環境問題を真剣に勉強できるのではないかと思っています。期待半分、不安半分で頑張って行きたいと思っています。
よろしくお願ひします。

(阿江委員)

やるからにはいい方向に進むように、住み良い街に出来るよう に、良い意見を出し合って頑張っていきましょう。

(竹内委員)

環境ということは大変広いものですが、自分の命に関わる問題であることは盛んに言われていますし、その通りだと思っているのですが、私自身は今の生活に慣れて、不快だなと思うこともそのままで行っていることもあります。

今回、このような会議に参加させていただくことで、少しは真剣に取り組んでいけるのではと、私自身、不安で一杯ですが頑張って行きたいと思っています。

それには、加東市にどんな課題があるのか?身近に出来る事柄をみんなでまとめて、それを取り組んで行き、また皆さんにも広くPRしてお知らせしたり、また、協力していただくことが加東市を快適な環境にしていくのではないかと思っています。

小学生が近所の溝に生息する生物を観察する活動に出会いました。今後も一緒に参加したいなと思っています。

いろんな活動の情報も伝わりにくいので、いろんな情報を共有し、そして大人たちもそういった子ども達の活動を支えていく必要があるのでと思いました。

環境問題は大切なことなので、一生懸命取り組んで行きたいと考えています。

(水口委員)

加東市でも一番環境のいいところに住んでいるので、環境のことなどあまり考えたことが無かったが、最近、不法投棄などが増えてきているので、皆さんと一緒に勉強したいと思っています。

(藤本委員)

いろいろと説明をいただいたが、どんな意見提案が出来るのかが不安です。専門的な知識もありませんし、環境問題というのは非常に大きな幅の広い問題だと思うので、それを知識の無いものがどう捉えるのかということを考えると、市から提案があったことに対応して市民会議で意見を言うのであればテーマは絞れてく

ると思うのだが、市民会議で提案をということになると、いろんな問題が真実なのかどうか分からないので、分からぬ部分が多い。この場に顔を出すのが場違いかなと思っている。

(伊藤委員)

この会議は本音で行かないといけないと思う。

ごみひとつのことも守ってくれない住民もいる中で、このような大きな問題を住民が付いて来るのかどうか疑問だ。

この問題は大変な問題で、加東市で何が必要なのかをしっかりと見極めることが大事だと思う。

加東市はきれいなまちだと思う。あまり、理想を高く持つと崩れると私は思うのですが。

本音で話しますので、皆さんのお叱りを受けると思いますが、よろしくお願ひします。

(竹村委員長)

ありがとうございました。最後に有意義なご意見を伺いましたが、全くその通りだと思います。

本当に役に立つものを作ろうとすると、本音で行かないといけないと思います。

今後も、皆さんのご協力をいただいて、頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

